

空

(伊藤 積史 中部商品取引所理事長)

恕

(中澤 忠義 東京工業品取引所理事長)

醇

(多々良 義成 豊商事会長)

誠

(野村 長次 横浜商品取引所理事・事務局長)

年賀新詠

私の好きな一文字

(2001・11～2002・12掲載分、順不同)

和

(藤田 康右 フジチュー会長)

夢

(日橋 勇 日本商品先物振興協会)

肩書きは掲載時のままであります。
みなさんの「投書」、大歓迎です。
事務局まで郵送でお願いします。

翔

(中村 光弘 福岡商品取引所理事長)

耐

(吉川 龍哉 三貴商事総務部係長)

勉

(清水 正紀 カネツ商事会長)

信

(松本 弘 岡藤商事理事)

真

(鈴木 真津弓 日商協総務部)

史

(森實 孝郎 東京穀物商品取引所理事長)

福

(安田 市 米常商事社長)

明

(井上 純之助 日本ユニコム顧問)



挨拶する中澤理事長と清水委員長

12月12日の誕生日祝う
東工取ゴム市場

東京工業品取引所のゴム市場は12月12日、立会場で天然ゴム市場の開設50周年の記念セレモニーを行つた。この日はまさに昭和27年の旧東京ゴム取引所から数えて50歳の誕生日だった。価格表示板に、お祝いの手順が浮かび上がり、中澤忠義理事長は「開設当時の標準品は現在も取引されているRSS3号で、会員数は44名でした。」と語りましたが、アジア市場も大きく変化しています。

新規会員、取引所及び関連団体の役職員の皆様におかれましては、今年もさらなる発展とご健康でありますよう祈念いたします。

本年より委託者税制が大きく変ります。また、大口取引に係る委託手数料の公正な価格指標として着実な発展をみせています」と述べました。

昭和27年の上場から平成14年12月11日までの50年間、東京ゴム取引所は昭和59年11月1日に東京織取、東京金取との統合で東工取として生まれ変わった。

昭和27年の上場からの50年間、総出来高は1億624万枚強、現物に換算すると概算で5億枚になる。

会員の皆様におかれましては、業界の短期ビジョンの着実な実現に向け、協力をお願い申し上げます。

神戸ゴム取引所(神戸取引所ビル)当時の立会風景

読売書法会が毎年開く展覧会には3万人以上が参加する。半分ぐらいが入選するが、10回入選すると会友になれる。そのうえ「秀逸」(千島、評議員の資格が与えられる。「特選」)の点という入賞制度があり、ここで5点取ると、さらに「読売奨励大賞」を2回取ると幹事に推され、

浅見錦龍氏(書星会会長)から名付けさせていただいた。中村さんが所属する書星道会で、中村さんはここの中華書法会の幹事という高い位置にある。

中村さんは漢字を得意とし、いまは万葉集に凝っています。中村さんは漢字を得意とし、いまは万葉集に凝っています。島氏率いる長興会や同じく文化熟章の杉岡華郵氏の臨池会など、綺羅、星の如し。

中村さんは漢字を得意とし、いまは万葉集に凝っています。中村さんは漢字を得意とし、いまは万葉集に凝っています。島氏率いる長興会や同じく文化熟章の杉岡華郵氏の臨池会など、綺羅、星の如し。

中村さんは漢字を得意とし、いまは万葉集に凝っています。中村さんは漢字を得意とし、いまは万葉集に凝っています。島氏率いる長興会や同じく文化熟章の杉岡華郵氏の臨池会など、綺羅、星の如し。

中村さんは漢字を得意とし、いまは万葉集に凝っています。中村さんは漢字を得意とし、いまは万葉集に凝っています。島氏率いる長興会や同じく文化熟章の杉岡華郵氏の臨池会など、綺羅、星の如し。

いま、万葉集と対峙する

福岡商品取引所理事長 光弘

2002年の読売書法展に出品した書(写真)

くは唐詩など中国の古典を手掛けますが、わたしは中国よりは日本のほうが好きですね。

</div